

# 十勝農業の概要

# 十勝農業の概要 ～ 十勝農業の沿革

- 明治16年（1883年）、北海道開墾を目的として結成された「晩成社」※が帯広に入植し、十勝内陸部の開拓が行われ、明治29年（1896年）からの植民区画地の解放により開拓移民が増加し、十勝の本格的な開墾が進められました。
- 以来、寒冷な気象条件の中、近代技術の導入、排水改良等の土地基盤整備を進め、今日では日本最大の食糧供給基地として発展しています。



晩成社の開拓移民

写真中央は十勝開拓の父と呼ばれる  
依田勉三

出典：帯広市史



十勝の開拓と馬耕

極寒、不毛の地に入植した先人は、馬とともに起居し、  
開墾と耕作に励み今日の十勝農業の基礎を築いた

出典：十勝農協連50年誌



てんさいの防除

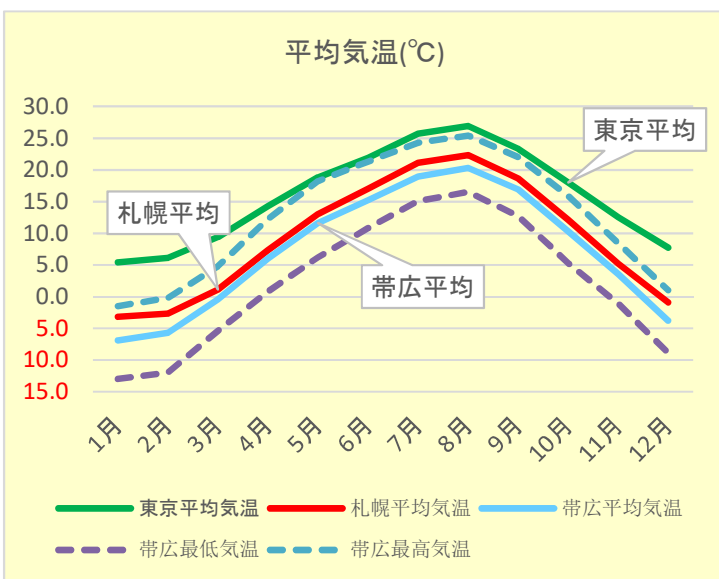


豆の播種

※ 十勝の開拓は、北海道に多く見られる官主導の屯田兵によるものではなく、晩成社をはじめ、富山、岐阜など本州からの**民間の開拓移民**により進められた。

# 十勝農業の概要 ～ 十勝地域の気象

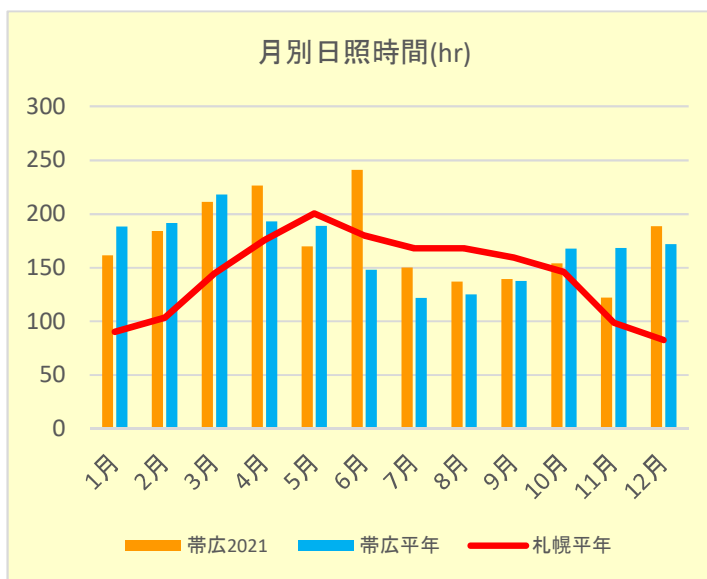
- 夏季は比較的暖かく、冬季は寒冷高気圧（シベリア高気圧）により低温が続くが、近年は最低気温が $-20.0^{\circ}\text{C}$ を下回る日がなくなり暖冬傾向にある。
- 日照時間は北海道では最も多い。年間の降水量は少なく、冬季は日高山脈で雪雲が遮られることから積雪が少ない傾向であるが、夏季はゲリラ豪雨など月によって変化が大きい。



(基礎データ～帯広測候所)

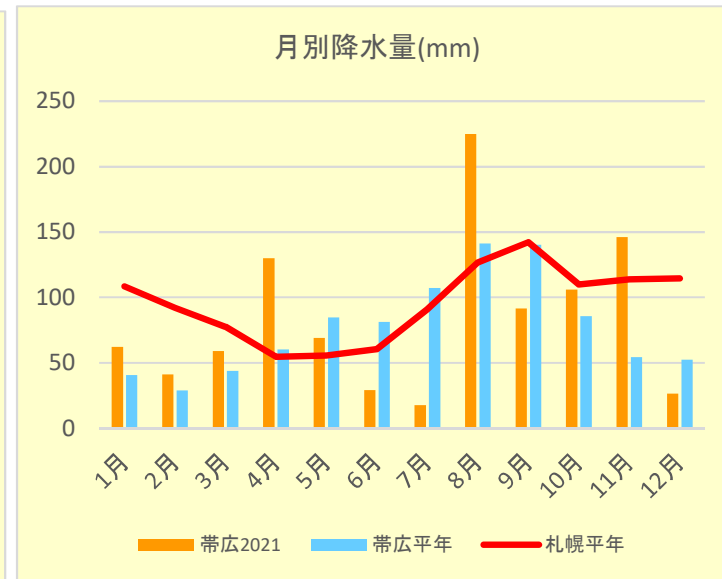
## 平均気温：

夏と冬の気温差が大きく、一日の気温差も $20^{\circ}\text{C}$ を超えることがあります。この寒暖差は、農作物の生育には欠かせないものとなっています。



## 日照時間：

6～9月は曇天が続き日照時間は短い  
10～4月は晴天が多く長い



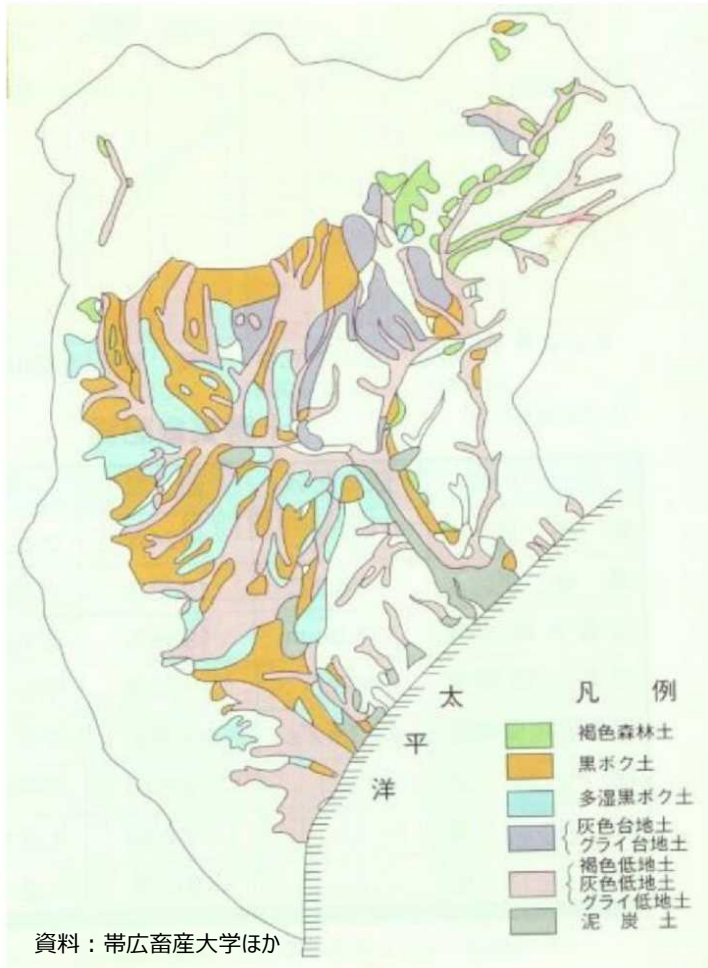
## 降水量：

冬季は積雪が少ない。  
(日高山脈で雪雲が遮られる)  
夏季はゲリラ降雨など月によって変化が大きい。

# 十勝農業の概要 ～ 十勝地域の土壌

- 十勝地域の土壌は、火山から噴出した火山灰が十勝一円に降り積もり厚い火山灰層が形成されており、この火山灰を母材とする土壌が火山性土（黒ボク土）と呼ばれております。
- 降灰の少ない東北部の台地・丘陵部では、堅くてやや重粘な褐色森林土や灰色台地土が見られ、排水対策など物理的な改善対策が必要である。

十勝管内土壌分布図



資料：帯広畜産大学ほか

排水不良土の分布



湿害発生地域の分布



## 黒ボク土とは・・・

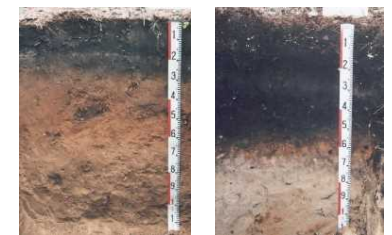
十勝管内の代表的な農地の土壌は、黒々として肥沃そうに見える黒ボク土となります。

黒ボク土は、リン酸が強く吸着されるため、作物に有効なリン酸濃度が低く、湿性土壌も多いことから、冷湿害などの被害も多く敬遠される土壌でした。

現在は、土地改良事業による排水改良と相まって、土壌改良資材の投入により、広大な優良農地への生まれ変わっています。

## 黒ボク土の分類・・・

- ・ 降灰した火山灰層に繁茂した植生が枯死（こし）分解され、生成した腐植が火山灰と強く結合し、やがて真っ黒な腐植生成した腐植が火山灰と強く結合し、微生物によって次第に分解され褐色となった乾性土壌が「淡色黒ボク土」と分類されます。
- ・ また、排水が悪いような条件では腐植の分解が進まず、真っ黒な腐植層となった湿性土壌が「腐植質黒ボク土」とされ、特に排水不良な条件では「多湿黒ボク土」と分類されます。



黒ボク土

多湿黒ボク土

# 十勝農業の概要 ～ 耕地面積、農業経営体数

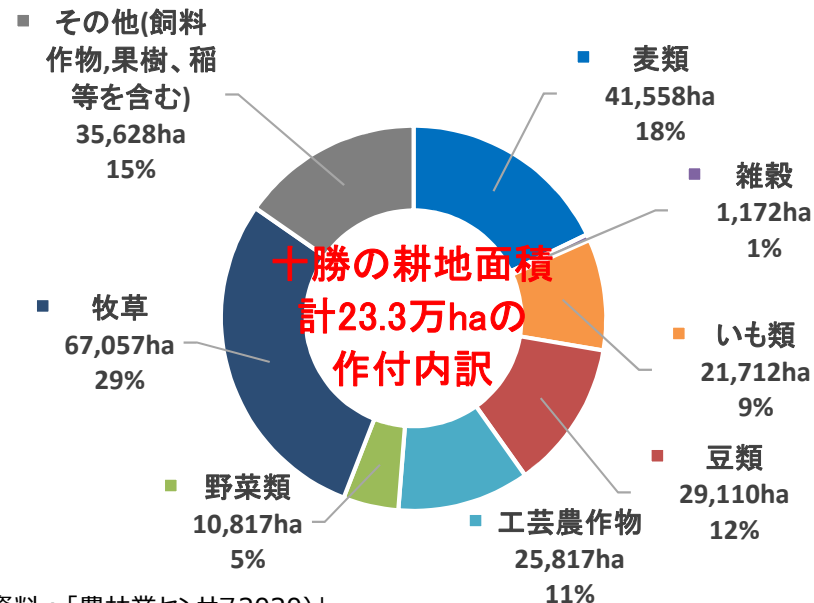
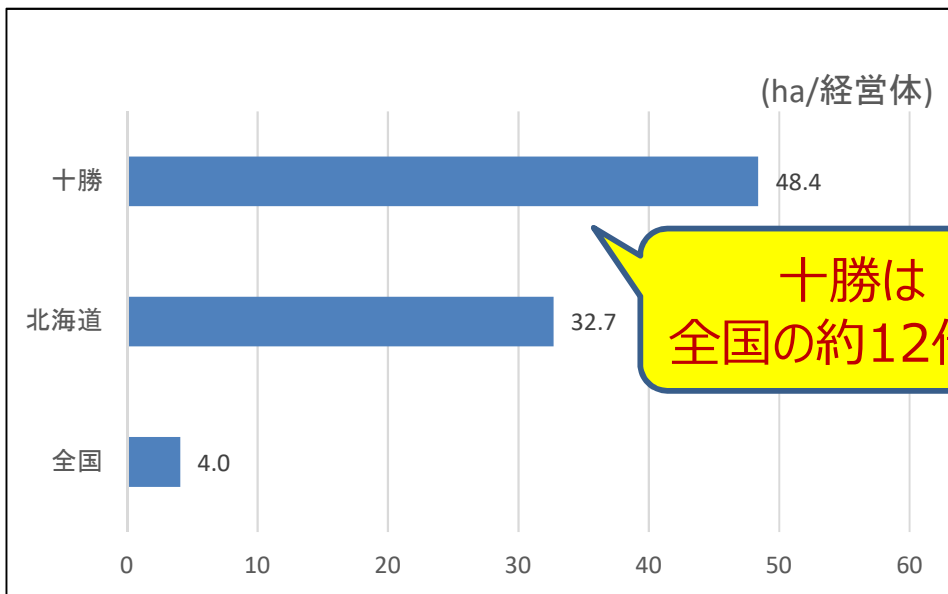
- 十勝地域の耕地面積は、北海道の約 22%（北海道は全国の約 26%）を占める。
- 十勝地域の1農業経営体当たり耕地面積は、北海道の **1.5倍**、全国の **12倍**。

## ○ 耕地面積と1農業経営体当たり耕地面積（R2）

区分	①耕地面積[ha]	②農業経営体数	③個人経営体	④主業経営体 (個人経営体のうち)	主業経営体率 (④/③)	1農業経営体当たり 耕地面積(①/②)
全国	4,325,000	1,075,705	1,037,342	230,855	22%	4.0
北海道	1,141,000	34,913	30,566	21,910	72%	32.7
十勝	254,800	5,266	4,511	3,910	87%	48.4

資料：北海道農政事務所「R1～R2北海道農林水産統計年報（総合編）」

## ○ 1農業経営体当たり耕地面積の比較



資料：「農林業センサス2020」

※工芸作物、野菜類、その他は集計値。

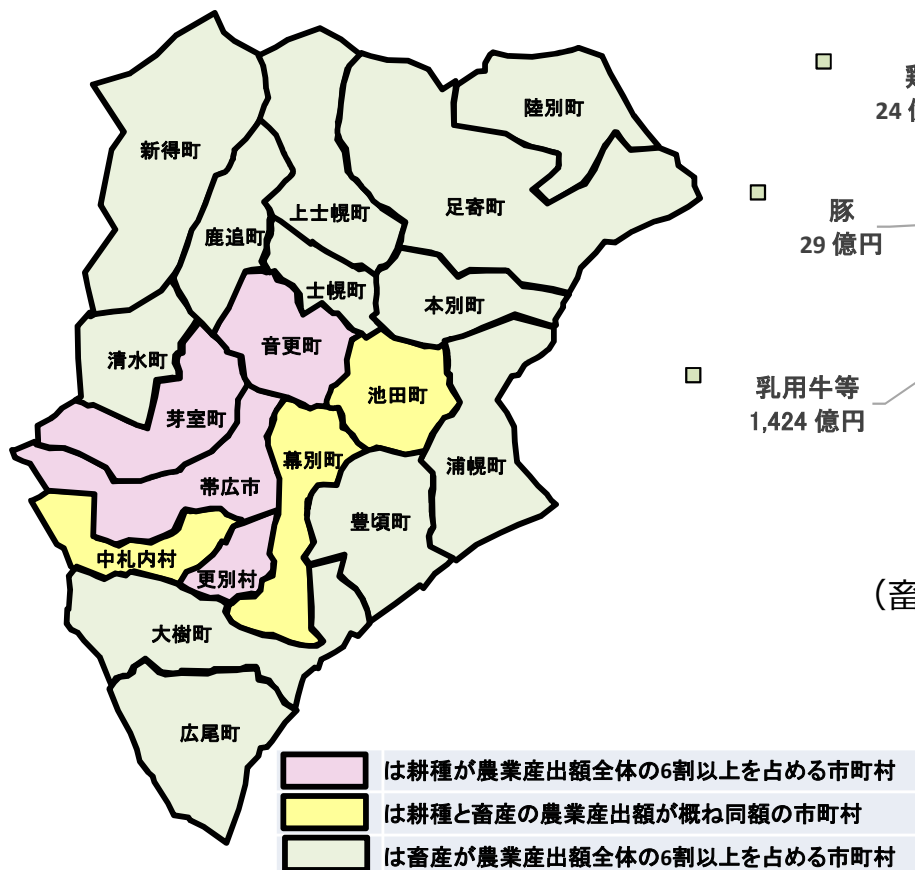
※麦類、雑穀、いも類、豆類、工芸農作物、野菜類は品目別作付面積の値。

※牧草は経営耕地面積の牧草専用地の値。

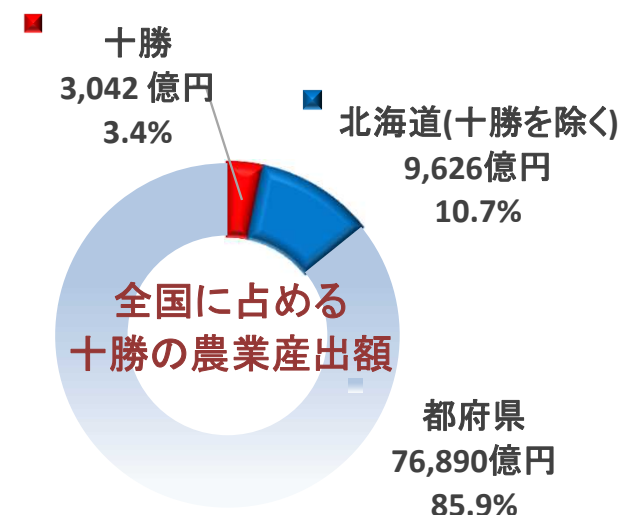
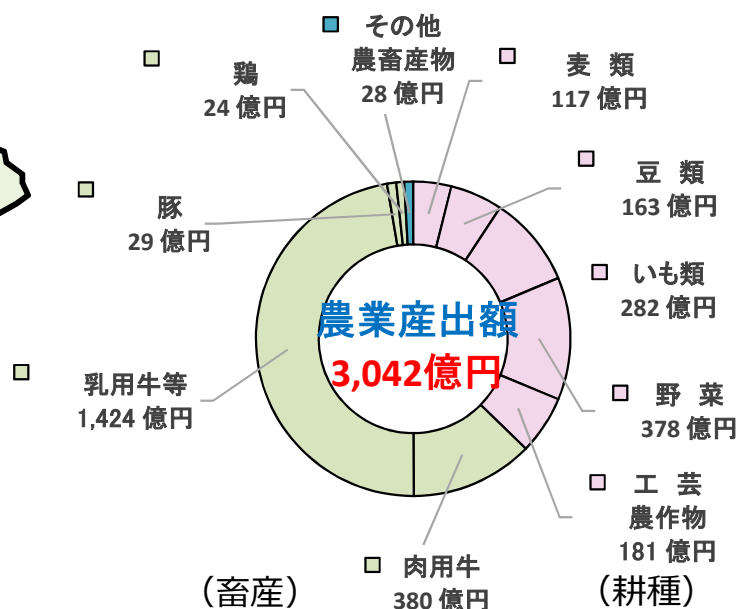
# 十勝農業の概要 ～ 農業産出額

- 十勝地域の農業産出額は、R2で約3,042億円。
- 耕種部門は畑作4品と野菜、畜産部門は生乳、肉用牛の生産が主となっている。
- 中央部では耕種の比率が高く、山麓部や沿岸地域では畜産主体の経営となっている。

市町村別の特色



十勝地域の農業産出額 (R2)



区分	農業産出額
全国	89,557 億円
北海道	12,667 億円
十勝地域	3,042 億円

資料：農林水産省「令和2年生産農業所得統計」

※十勝地域については、農林水産省「令和2年市町村別農業産出額(推計値)」を集計値。

# 十勝農業の概要 ～ 農業生産（農産）

○ 十勝地域では、小麦、豆類、ばれいしょ、てん菜の4品を中心とした大規模な畑作経営が展開。

## <生産量>

	小麦	ばれいしょ	大豆	小豆	いんげん	てん菜
全国	1,097,000 t	2,175,000 t	246,500 t	42,200 t	7,200 t	4,061,000 t
北海道	728,400 t	1,686,000 t	105,400 t	39,100 t	6,860 t	4,061,000 t
十勝	298,800 t	780,900 t	32,400 t	33,568 t	4,744 t	1,892,000 t
全国割合	27.2%	35.9%	13.1%	79.5%	65.9%	46.6%
道内割合	41.0%	46.3%	30.7%	85.9%	69.2%	46.6%

資料：農林水産省「作物統計」、「特定作物調査等」

※小麦、ばれいしょ、大豆、てん菜：「作物統計」R3年度

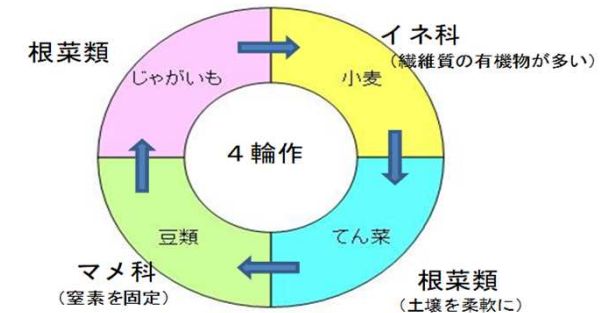
※小豆、いんげん：「特定作物調査等」R3年度

## 十勝の畑作4品とは・・・

十勝では、下図の4品の輪作を基本に、野菜や緑肥作物を取り入れた営農体系が確立しています。

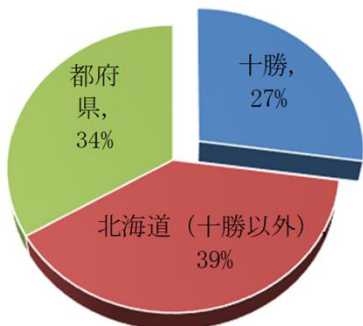
輪作とは、同じ作物を毎年同じ畑につくる連作に対して、異なる作物を順に作ること。

輪作をすることで土の養分の偏りを防ぎ、根粒菌がマメ科作物を入れて土の肥沃化を図るなど、輪作には土を維持する働きとともに、土壌病害虫の防除効果も大きい営農技術です。

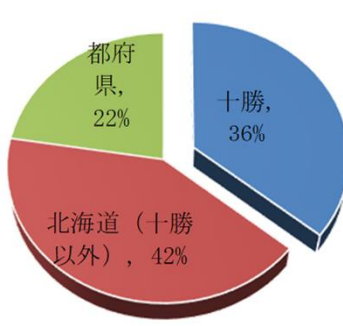


## <全国に対する十勝の割合>

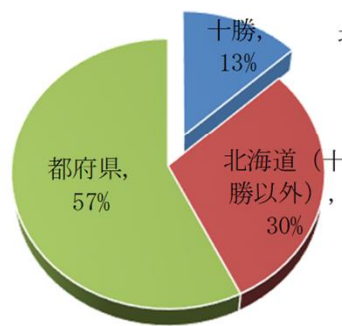
### 小麦



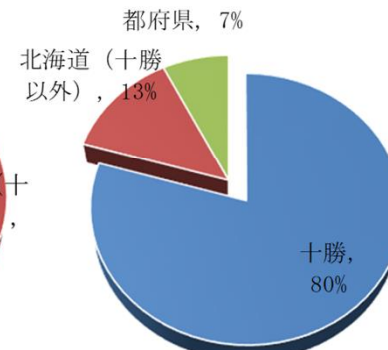
### ばれいしょ



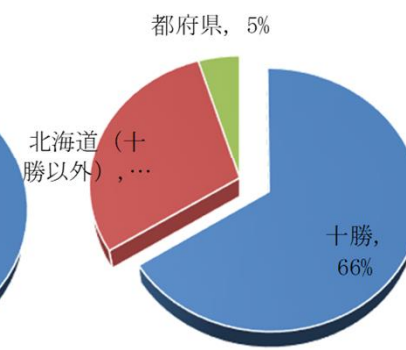
### 大豆



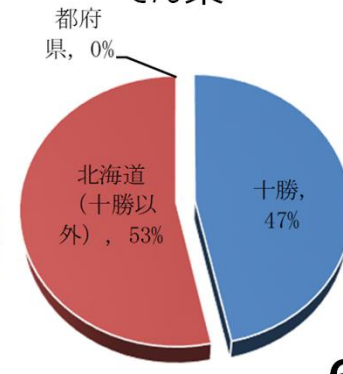
### 小豆



### いんげん



### てん菜



# 十勝農業の概要 ～ 農業生産（農産）

- 十勝地域の主な野菜(31品目)の作付面積は10,817ha(R2年)で露地野菜を中心に栽培。
- 近年、農業就業人口の減少傾向が続く中、農業生産と関連産業も含めた生産額の拡大を図るため、各地域で野菜類の導入に取り組んでいる。

## ■ 十勝川西長いも

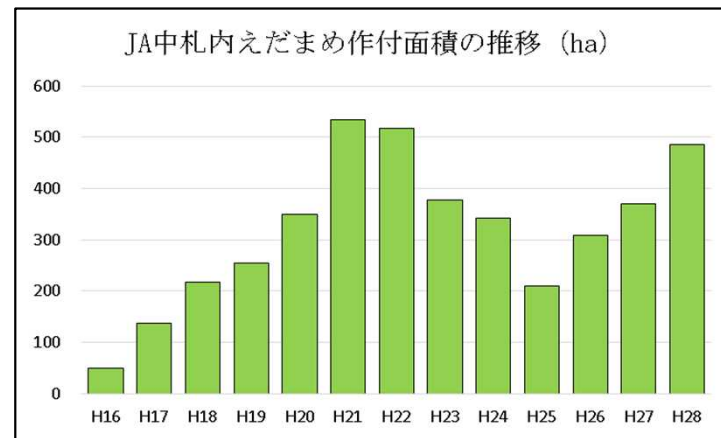
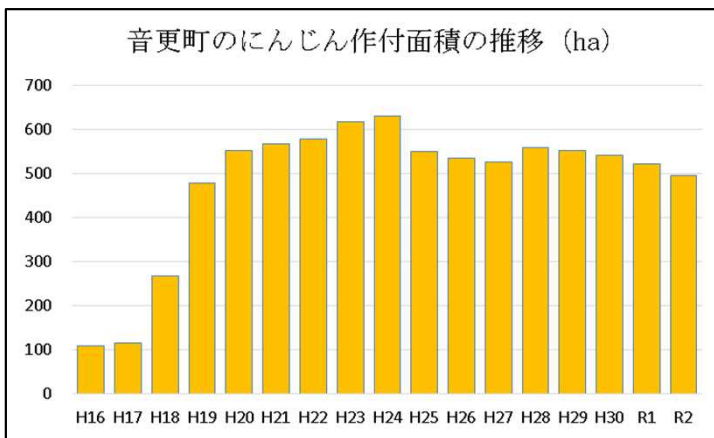
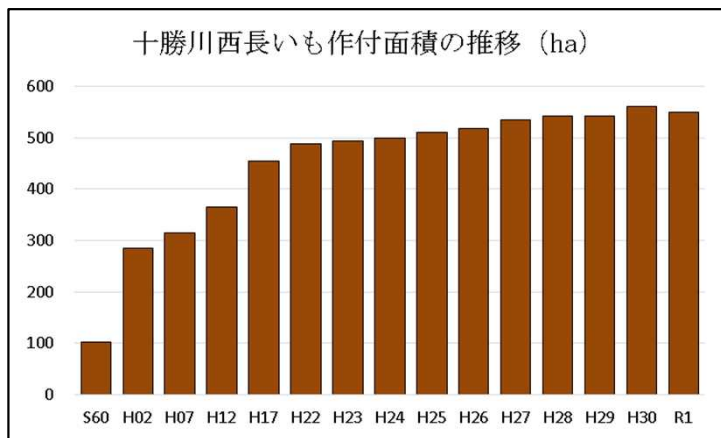
R2年からさらに1農協が加わり、十勝管内10農協で連携して産地を形成。台湾、米国、シンガポール等への輸出に積極的に取り組む。

## ■ 音更町のにんじん

国内トップクラスの産地となった。日本全国へ出荷しており、一部は海外へ輸出も展開している。

## ■ 中札内の冷凍枝豆

高品質の冷凍枝豆生産体制が確立し、アメリカにも輸出。



国内販売 青箱

2L規格長いも(900g)



台湾輸出用白箱

4L規格長いも(1400g)





# 十勝農業の概要 ～ 農業生産（畜産）

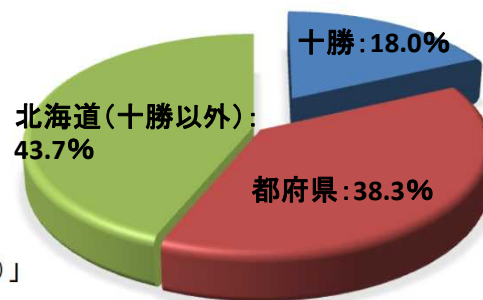
- 十勝地域の酪農は畑作ともに十勝農業を代表する存在で、乳用牛飼養戸数・飼養頭数等で全道一。  
生乳生産量は全国の約18%。(全道の約3割)
- 十勝地域の肉用牛は、畑作、酪農に次ぐ重要な地位を占めており、飼養戸数・飼養頭数は全道一。  
十勝和牛・いけだ牛・十勝若牛をはじめブランド化を進めている。

	乳用牛飼養頭数	生乳生産量	肉用牛飼養頭数
全国	1,371,000 頭	7,592,061 t	2,614,000 頭
北海道	846,100 頭	4,265,600 t	553,300 頭
十勝	247,154 頭	1,347,795 t	236,110 頭
全国割合	18.0 %	17.8 %	9.0 %
道内割合	29.2 %	31.6 %	42.7 %

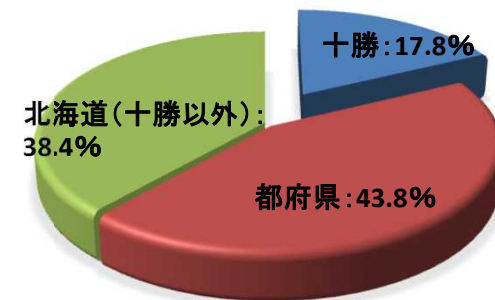
## 【資料】

全国・北海道：飼養頭数：農林水産統計年報（令和3年）、生乳生産量：牛乳乳製品統計（令和2年）  
 十勝：十勝畜産統計（令和4年12月集計の数値）  
 ※十勝の肉用牛飼養頭数は「黒毛和種」「褐色和種」「日本短角種」「アンガス種」「ホルスタイン種（肉用）」  
 「その他肉用牛」の合計

乳用牛飼養頭数



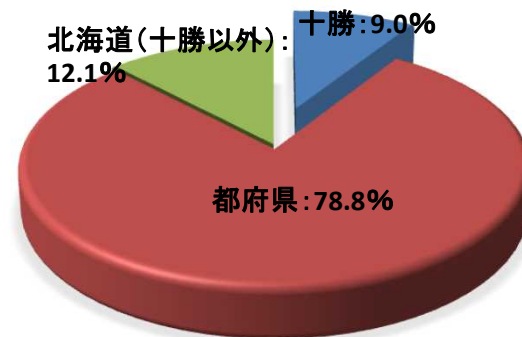
生乳生産量



## <中小家畜の動向>

肉豚	「放牧養豚」、「ホエー豚(チーズ製造時に出る水分)」、「モール豚(モール温泉を飲用)」など地域ブランド化
羊肉	北海道は全国の8割を占めており、十勝は道内の主要産地
採卵鶏	HACCP方針の導入、道産飼料米の活用など食の安全・安心の取り組み
肉用鶏	「新得地鶏(新得町)」などのブランド化

肉用牛飼養頭数



# 十勝農業の概要 ～ 農畜産物（小麦）

- 十勝地域は**国産小麦の1 / 4を生産**する小麦の一大産地。
- 十勝地域で栽培されている小麦は、秋まき小麦がほぼ100%を占める。品種は平成23年度産より従来の「ホクシン」から「**きたほなみ**」に全面切り替え。
- 一方、パン用として実需者からの要望が高い春まき小麦（パン用強力系品種:922ha(R3))も栽培。
- また、平成24年産からは、中力系品種とのブレンドで優れたパン適性を発揮する超強力系品種「ゆめちから」も栽培されている
- 十勝産秋まき小麦は、各農協で乾燥、調製された後、主に道外向けは広尾町十勝港広域小麦流通センターサイロに貯蔵され、都府県への輸送はバラ積貨物船を利用。

## 小麦の種類・銘柄と小麦粉の種類・用途

外国産小麦の銘柄	カナダ産ウェスタン・レッド・スプリング (1CW)	アメリカ産ダーク・ノーザン・スプリング (DNS)	アメリカ産ハード・レッド・ウィンター (HRW)	オーストラリア産スタンダード・ホワイト (ASW)	アメリカ産ウェスタン・ホワイト (WW)
輸入数量 482万トン	141万トン	90万トン	85万トン	72万トン	67万トン

小麦粉の種類	強力粉	準強力粉	中力粉	薄力粉
主な用途	食パン 	中華麺 ギョウザの皮 	うどん 	カステラ、ケーキ 和菓子、天ぷら粉 ビスケット 
たんぱく質の含有量	11.5～13.0%	10.5～12.5%	7.5～10.5%	6.5～9.0%

用途	パン用品種	中華麺用品種	日本麺用品種等
国内産小麦流通量 85万トン	13.8万トン(16.3%)	0.9万トン(1.1%)	69.8万トン(82.5%)
(参考) R3年度流通量	北海道産ゆめちから (8.2万トン) 北海道産春よ恋 (3.9万トン)	福岡県産ちくしW2号【ラー麦】 (0.9万トン)	北海道産きたほなみ (52.3万トン) 香川県産さぬきの夢2009 (1.2万トン)

注1：輸入数量及び国内産小麦流通量は、過去5年（H29～R3年度）の平均数量である。資料：農林水産省HP

注2：輸入数量は、5銘柄以外の銘柄（デュラム小麦等）28万トンを含む。

注3：国内産小麦流通量は、集荷団体からの聞き取り数量である。

：2022十勝の農業  
（十勝総合振興局）

### <きたほなみ>

「きたほなみ」は、2006年に北海道の優良品種に認定された多収・良品質の新品種。これまで主要品種であった「ホクシン」に比べて収量が2割程度多く、穂発芽耐性や耐病性に優れている。品質では粉の色、うどんに加工したときの色と食感が良好で、製めん適性が優れている。「ホクシン」に代わり北海道内で広く栽培。

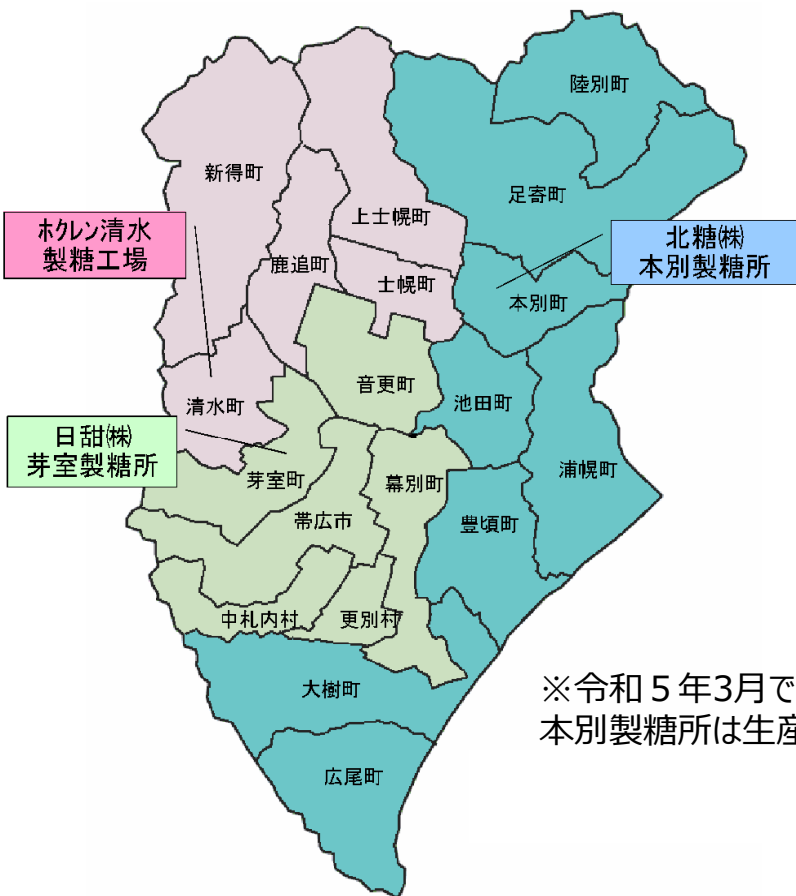


大型コンバインによる小麦の収穫  
(写真:JA芽室より)

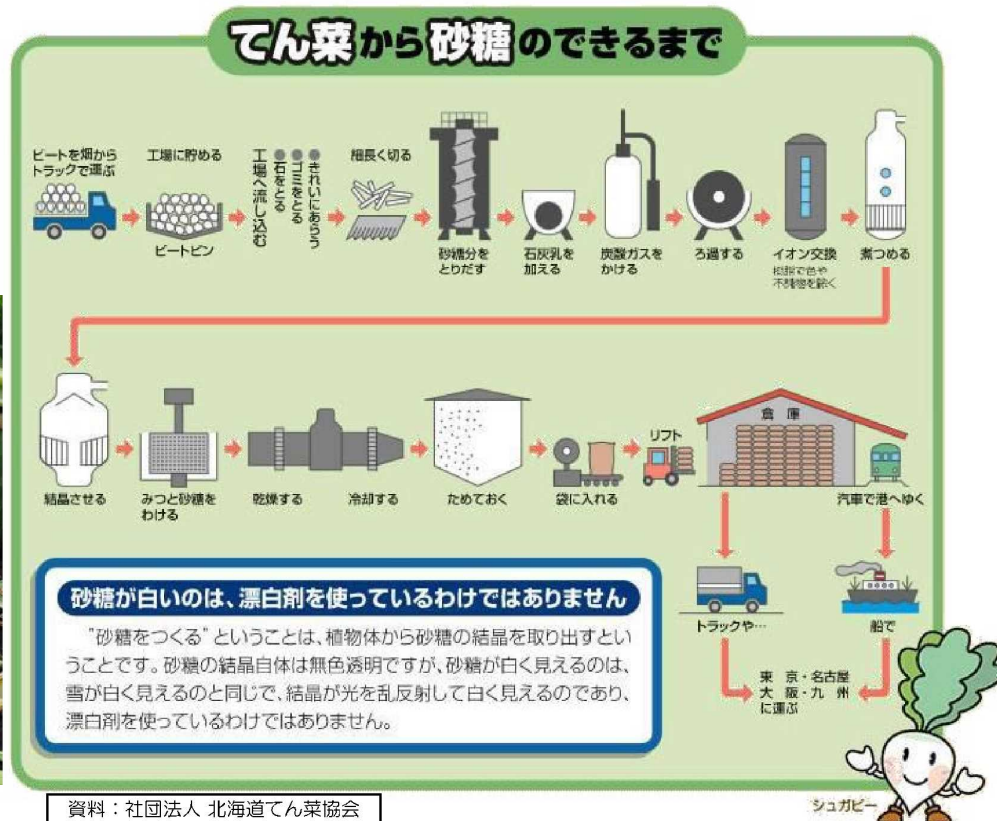
# 十勝農業の概要 ～ 農畜産物（加工：てん菜・製糖）

○ 十勝地域には3つの製糖工場があり、10月中旬から24時間操業で、**道内の39%**に当たる140万tのてん菜を処理し、22万tの砂糖を生産している。

製糖工場の位置と区域



※令和5年3月で北糖（株）本別製糖所は生産終了



工場別原料集荷量と砂糖生産量（令和4年産）

工場名	原料処理量 (t)	砂糖生産量 (うち原料糖)		裁断期間 (月日)	製糖期間 (月日)
		(t)	歩留 (%)		
日本甜菜糖業(株)芽室製糖所	886,520	138,800 (21,879)	15.66	10月10日 1月21日	10月10日 3月23日
ホクレン清水製糖工場	280,795	43,969 (5,346)	15.66	10月20日 2月9日	10月20日 2月9日
北海道糖業(株)本別製糖所	228,357	34,320 (1,026)	15.03	10月12日 1月7日	10月12日 1月8日
合計	1,395,672	217,089 (28,251)			

(北海道農政部生産振興局農産振興課調べ)

資料：2022十勝の農業（十勝総合振興局）

・原料糖：本州の製糖メーカー原料として販売するもの  
 ・原料糖数量は砂糖生産量の内数である

# 十勝農業の概要 ～ 農畜産物（加工：ばれいしょ）

## □ でん粉原料用

管内のでん粉工場では、8月下旬から12月上旬の期間で、令和元年産では、約4万9千tのでん粉を生産している。

なお、でん粉工場は、平成11年と13年に製造コストの低減を図るため合理化、省力化に向けた再編整備を行い、2工場が廃業し、現在では農協系3工場と商系1工場の4工場が操業している。

## □ 加工食品用

管内のばれいしょ生産量のうち令和元年産では32万8千tの原料が加工食品用に向けられており、加工メーカーに供給される工場を設置し、ポテトチップ、フレンチフライ、コロッケなどの製造を行っている。

ポテトチップ用には、トヨシロ、きたひめ、フレンチフライ用には、ホッカイコガネ、コロッケ用には、男爵いもが主に利用されている。

## □ 十勝地域の主要なばれいしょ加工

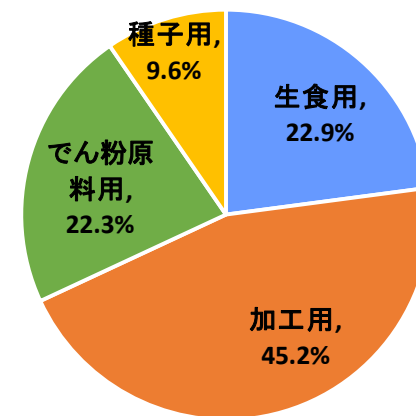
JA士幌	ポテトチップ、フレンチフライ、コロッケ
ジェイエイめむろフーズ(株)	フレンチフライ、サラダ
カルビーポテト(株)	じゃがりこ、ジャガビー、マッシュポテト

資料：2020十勝の農業（十勝総合振興局）

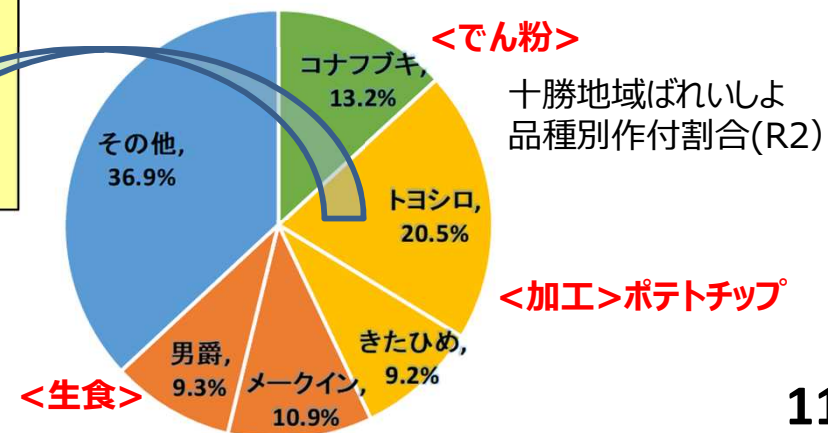


トヨシロの特徴  
 ・還元糖含量が少なく、油加工に適する。  
 ・目が浅く、形が良い。  
 ・多収

十勝地域ばれいしょ用途別作付割合(R2)



フライドポテトの製造(写真:JA士幌HPより)



# 十勝農業の概要 ～ 農畜産物（加工：乳業工場）

- 十勝地域の乳業工場は、大手 5 工場があり、飲用牛乳、ナチュラルチーズ、アイスクリーム、その他バター、ヨーグルト、生クリーム等の製造が行われている。
- よつ葉乳業（株）では、平成25年10月から、十勝産乳原料を100%使用したソフトクリーム原料「よつ葉北海道十勝ソフトミックス」を台湾へ輸出している。また、平成27年に十勝主管工場チーズ生産施設を完成し、ハラル製品をシンガポール等へ輸出している。

## 主要な乳業工場

名称	所在地	主な製造品目
よつ葉乳業(株)十勝主管工場	音更町	牛乳類、ヨーグルト、チーズ類、バター類、アイスクリーム、粉乳類、生クリーム
雪印メグミルク(株)大樹工場	大樹町	ナチュラルチーズ
(株)明治十勝工場(明治十勝チーズ館)	芽室町	ナチュラルチーズ、生クリーム、脱脂乳
(株)明治十勝工場 本別工場	本別町	生クリーム、濃縮乳
十勝浦幌森永乳業(株)	浦幌町	牛乳類、生クリーム類、脱脂濃縮乳

資料：2022十勝の農業（十勝総合振興局）

### 加工食品



## 北海道 よつ葉乳業(株) 『ソフトクリーム原料(ソフトミックス)を台湾へ輸出』

#### 【主な品目】

ソフトクリーム原料

#### 【主な輸出先国・地域】

台湾

#### 【輸出取組の概要】

- ◆ よつ葉乳業(株)では平成25年10月から、十勝産乳原料を100%使用したソフトクリーム原料「よつ葉北海道十勝ソフトミックス」を台湾へ輸出開始。
- ◆ 台湾セブンイレブンにおいて販売されているソフトクリームの原料として使用されている。
- ◆ ソフトミックスの輸出目的は、北海道産生乳の新規需要の創出。

#### 【輸出実績】

	輸出額(千円)	
平成26年度	640,000	前年度比約2倍

# 十勝農業の概要 ～ 農業生産（野菜・肉用牛）

○ 十勝地域の農業は畑作が中心であるが、近年の施策である「高収益品目(野菜等)の作付」「6次産業化」「販路の多様化」に合致した取組がなされている。

## <野菜作付面積（令和2年度）>

品目	市町村名	作付面積	順位
かぼちゃ	芽室町	263	5
えだまめ	芽室町	540	1
	中札内村	488	2
	帯広市	80	3
さやいんげん	芽室町	224	1
	中札内村	189	2
さやえんどう	帯広市	5	4
ねぎ	音更町	30	4
はくさい	幕別町	38	2
	清水町	33	3
キャベツ	芽室町	74	2
	幕別町	66	3
	鹿追町	59	4
ゆりね	芽室町	6	3
	鹿追町	5	4

品目	市町村名	作付面積	順位
だいこん	帯広市	309	1
	幕別町	196	3
にんじん	幕別町	485	1
	音更町	471	2
ごぼう	芽室町	116	1
	帯広市	76	2
	幕別町	42	4
ながいも	幕別町	416	1
	芽室町	340	2
	帯広市	327	3
	音更町	87	4
レタス	幕別町	56	1
ブロッコリー	音更町	197	3

資料：北海道野菜地図（その45）令和4年2月

多くの野菜において  
道内5位以内を占める

豆缶詰のセット(JA上士幌)



冷凍いんげん(JAめむろ)



近年は加工食品としての需要も増加  
店頭販売だけでなく、通信販売でも取り扱いが拡大

## <十勝産肉用牛を使用した加工品>

市町村名	地域	算出額[千万円]	道内順位
士幌町	十勝	754	1
清水町	十勝	532	2
白老町	胆振	400	3
上士幌町	十勝	384	4
佐呂間町	オホーツク	259	5

資料：令和元年度なんばんBOOK

### 十勝和牛



十勝の産出額道内シェア率  
39.2%（1位）

### 十勝若牛(JA十勝清水町)



十勝の肉牛は生産・加工が盛んに行われ、近年は  
世界的な輸出拡大が期待されている。

十勝和牛プロジェクト：<http://www.tokachiwagyu.com/>  
JA十勝清水町HP

# 十勝農業の概要 ～ 農産物等の輸出

- 政府の輸出額目標である2025年に2兆円、2030年に5兆円を達成するために国全体で輸出事業拡大に取り組んでいる。(2022年輸出額：1兆4,148億円)
- 十勝地域は野菜類、乳製品で輸出を展開。台湾、アメリカ、シンガポール等へ輸出を行っている。

## 北海道 輸出重点品目の輸出産地リストマップ

**◎ 牛肉**

- ホクレン食肉輸出コンソーシアム(北海道全域)

**◎ 豚肉**

- 北海道産豚肉輸出拡大コンソーシアム(新冠町)

**◎ 鶏肉**

- 日本ホワイトファーム(株)札幌コンソーシアム(厚真町)

**◎ 牛乳乳製品**

**LL牛乳等・チルド牛乳**

**チーズ**

- よつ葉乳業(株)(旭川市、音更町)
- 雪印メグミルク(株)(旭川市、中標津町、大樹町)
- 北海道乳業(株)(函館市)

**LL牛乳等・チルド牛乳**

- 北海道日高乳業(株)(日高町)
- (株)北海道酪農公社(江別町)
- ホクレン農業協同組合連合会(旭川市)

**◎ 味噌**

**北海道味噌**

- 全国味噌工業協同組合連合会北海道組合(札幌市)
- 福山醸造(株)(札幌市)
- 岩田醸造(株)(札幌市)
- 渋谷醸造(株)(本別町)
- 倉繁醸造(株)(網走市)
- 服部醸造(株)(八雲町)
- 太田醸造(有)(訓子府町)

**◎ 醤油**

**醤油**

- 北海道味噌醤油工業協同組合(札幌市)
- 福山醸造(株)(札幌市)
- 北海道醤油(株)(札幌市)

**◎ その他の野菜**

**たまねぎ**

- 音更町農業協同組合(音更町)
- ふらの農業協同組合(富良野市)
- きたみらい農業協同組合(北見市)
- 常呂町農業協同組合(北見市常呂町)
- えんゆう農業協同組合(湧別町)
- 美幌地方広域農業協同組合連合会(美幌町)

**ながいち**

- 帯広大正農業協同組合(帯広市)
- 帯広市川西農業協同組合(帯広市)
- 音更町農業協同組合(音更町)

**にんじん**

- 音更町農業協同組合(音更町)

**にんにく**

- 十勝清水町農業協同組合(清水町)
- 常呂町農業協同組合(北見市常呂町)

**かぼちゃ**

- 新ブランド農産物生産組合あつさ農匠(厚沢部町)

**◎ コメ・バックご飯・米粉及び米粉製品**

**コメ・バックご飯**

- ホクレン農業協同組合連合会(北海道全域)

**コメ**

- (株)芦別RICE(芦別市)
- 新篠津農業協同組合(新篠津村)
- 北海道産米輸出促進協議会(小樽市、美瑛町、倶知安町、せたな町)
- (株)松原米穀契約生産者組合(仮称)(北海道全域)
- 東川町農業協同組合(東川町)

**◎ ウィスキー**

**ウィスキー**

- 札幌酒精工業(株)(札幌市)

**◎ 清酒**

**清酒**

- 日本清酒(株)(札幌市)
- 男山(株)(旭川市)
- 高砂酒造(株)(旭川市)
- 福司酒造(株)(釧路市)
- 小林酒造(株)(栗山町)
- 金菊酒造(株)(新十津川町)
- 三千櫻酒造(株)(東川町)
- 国穂酒造(株)(増毛町)

**◎ ホタテ貝**

**ホタテ貝(北海道全域)**

- 北海道漁業協同組合連合会
- カネヨ木村水産(株)
- (株)カネキチ澤田水産
- (有)カネヤマ松浦水産
- (有)丸二永光水産
- 寝冷凍食品(株)
- 稚内東部(株)
- カクイチ品森水産(株)
- 広瀬水産(株)
- (株)寺本商店
- (株)丸木堀切商店
- (株)マルキチ
- 北見食品工業(株)
- 同和食品(株)
- (株)カネコメ田中水産
- マルゼン食品(株)
- (株)北海道永徳
- (株)マ印神内商店
- (株)丸イ佐藤海産



**帯広市川西農業協同組合(帯広市)**  
ながいも：台湾、アメリカ、シンガポール等



**十勝清水町農業協同組合(清水町)**  
にんにく：台湾、東南アジア各国



**よつ葉乳業(株)(音更町)**  
ソフトクリーム原料：台湾  
チーズ：シンガポール等

# 十勝農業の概要 ～ 十勝ブランド登録制度（参考）

- 基準をクリアしている十勝産加工食品を「十勝ブランド登録品」として登録する仕組み。
- 十勝産原料が51%をはじめとする原材料規定のほか、衛生・品質管理の徹底、官能検査（食味試験）のクリア等、詳細な基準が定められている。



資料：2020十勝の農業（十勝総合振興局）

※ 認証を受ける生産者で構成されている「**十勝ブランド認証機構**（事業主体）」で、品目毎の部会で認証基準の策定・管理を行っている。

品目	安心の基準	認証店舗一覧(R02年12月時点)
ナチュラルチーズ 6工房	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生乳十勝産100%</li> <li>・他原料も全て十勝産（生産のない塩などは除外）</li> <li>・添加物一切不使用</li> </ul>	共働学舎新得農場、十勝千年の森チーズ工房、(株)十勝野フロマーヂュ、(有)NEEDS、十勝品質事業協同組合、広内エゾリスの谷チーズ社
パン 9工房	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小麦十勝産100%</li> <li>・全原料の80%以上十勝産</li> </ul>	コルバ林製パン、北海道ホテル アンクルモールセンズ、ますやパン、花ねこパン屋、手づくりパンの店じゅん&まき、あさひや、高橋菓子店、ちいさな街のパンやさん、ぱん本舗「くーぷ」
お菓子 9工房	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主原料十勝産100%</li> <li>・全原料の80%以上十勝産</li> <li>・合成保存料・合成着色料不使用</li> </ul>	華どら秀月、たいやき工房 帯広西店、株式会社 柳月、まさおか、ペイストリーストーブハウス、Donets&Café Spaceトカチ輪菓家、くり豆本舗、峠のテラス、前田農産食品株式会社
乳製品 8工房	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主原料十勝産100%</li> <li>・全原料の80%以上十勝産</li> <li>・添加物は、天然物由来の増粘安定剤、寒天、ゼラチンのみ</li> </ul>	広瀬牧場ウエモンズハート、十勝ミルクー味想百盛-、十勝しんむら牧場、(有)あすなろファーム、あいす屋、(株)十勝野フロマーヂュ、(有)NEEDS、陸別町



十勝野フロマーヂュ



ますやパン



柳月

資料：十勝ブランド登録制度HP 登録店一覧